



平成30年9月19日

報道機関 各位

国立大学法人富山大学地域連携推進機構
地域づくり・文化支援部門
部門長 奥 敬一

平成30年度富山大学地域連携推進機構 地域づくり・文化支援部門
特別公開フォーラムの開催について

富山大学地域連携推進機構 地域づくり・文化支援部門では、平成30年度地域連携推進機構 地域づくり・文化支援部門特別公開フォーラムを以下の日時に開催いたします。

前半は、藤山 浩（一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所所長）を講師としてお招きし、「源流域に人を取り戻すための戦略」と題して、山村・源流地域に若い世代を移住させるための戦略について講演頂きます。後半は、南砺市で地域づくりに関わる方々がパネリストとして加わり、山村創生の新たな方向性について議論します。入場料は無料です。

つきましては、取材・報道方よりよろしくお願い申し上げます。

記

1. 名称 平成30年度富山大学地域連携推進機構 地域づくり・文化支援部門特別公開フォーラム
「天空の森で暮らすチカラ TOGA 山村創生シンポジウム」
2. 日時 平成30年9月22日（土） 13:30～17:00
3. 場所 利賀大山房（〒939-2513 富山県南砺市利賀村上百瀬 48）
4. 内容 別添のチラシをご参照ください

以上

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学芸術文化学部総務課
総務・研究協力チーム（羽鳥）
TEL:0766-25-9138

天空の森に暮らすチカラ

TOGA山村創生 シンポジウム

2018 **9.22** (SAT)

13:30~17:00 (受付開始 13:00)
利賀大山房 (南砺市利賀村上百瀬48)

事前申込不要
参加費無料

急速な人口減少と高齢化の進行の中で、将来的な自治体の消滅が不安視されています。とりわけ山村部や離島などでその不安は大きくなっていますが、一方でそうした地域に若い世代の人たちが移入する「田園回帰」の動きも着実に広がっています。本フォーラムでは、「エコビレッジ構想」や「TOGA森の大学校構想」により地域の自立と循環を目指す南砺市利賀地域を会場として、自然豊かな山村・源流地域に人を取り戻すための新たな方向性について議論したいと思います。

第1部 基調講演 13:35~15:10

「源流域に人を取り戻すための戦略」

講師 藤山 浩 (一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長)

講師 藤山 浩

(一般社団法人
持続可能な地域社会総合研究所 所長)

プロフィール

専門分野は、中山間地域政策、地域人口分析、地域計画等。「内閣府 まち・ひと・しごと創生本部 有識者会議」、「総務省 田園回帰に関する調査研究会」などの委員を務める。地域づくりに関する研究・分析・政策の立案や講演活動などを通して、全国で地域社会の持続性を取り戻す活動を行っている。

第2部 パネルディスカッション 15:25~16:55

「利賀から考える山村創生 ーバイオマス活用と人づくりー

パネリスト 藤山 浩
森山紗也子 (南砺市商工会利賀村事務所勤務)
川森 純一 (南砺市役所市民協働部長)
江尻 裕 (一般社団法人moribio森の暮らし研究所)

【アクセス】

東海北陸自動車道・五箇山ICより約1時間 (約32km)
北陸自動車道・砺波ICより約1時間 (約35km)

【問合せ先】

富山大学芸術文化学部総務課総務・研究協力チーム

〒933-8588 富山県高岡市二上町180

電話：0766-25-9138 FAX：0766-25-9104

E-mail：tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp

主催：富山大学地域連携推進機構地域づくり・文化支援部門

共催：一般社団法人 TOGA 森の大学校

後援：公益財団法人富山県ひとづくり財団、富山県、南砺市、
北日本新聞社、利賀地域ふるさと推進協議会、
一般社団法人 moribio 森の暮らし研究所

